

高齢者の居住に関する課題と今後の方向性

高齢者の居住の現状

高齢者の現状

- 高齢化率が上昇（S60：7.8%→H27：20.7%）【資料集 P1】
- 高齢者のいる世帯の割合が増加（S60：15.6%→H27：27.7%）【資料集 P3】
- なかでも高齢単身世帯と高齢夫婦のみの世帯が増加（高齢単身 S60：11,710 世帯→H27：80,032 世帯、高齢夫婦 S60：15,368 世帯→H27：56,191 世帯）【資料集 P3】
- 要介護認定者数も増加傾向（H24：52,771 人→H28：63,336 人）【資料集 P4】
- 高齢者世帯のうち低額所得（年収 300 万円未満）は約 6 割【資料集 P6】

高齢者の住まいの現状

- 高齢者のいる世帯の住宅（H25：197,400 戸）は約 4 割が昭和 55 年以前の建築【資料集 P10】
- 高齢者のいる世帯の住宅で一定のバリアフリー化が行われた住宅は 37.5%【資料集 P11】
- 建築時期が古い住宅ほどバリアフリー化された住宅の割合が低い【資料集 P11】
- 単身・夫婦のみの借家世帯の数は 53,800 世帯【資料集 P9】
- 高齢者向け賃貸住宅の戸数は、5,638 戸【資料集 P17】
- 高齢者向け施設の定員数は合計で 22,626 人【資料集 P16】

【借家の状況】

- 高齢者のいる世帯の約 4 割が借家（H25：72,900 世帯、単身世帯では約 55%、夫婦世帯では約 25%が借家）【資料集 P9】
- バリアフリー化率は 25.0%（持家より低い）【資料集 P11】
- 民間賃貸住宅では、高齢者世帯は入居の制限を受けやすい【資料集 P14】

【持家の状況】

- 高齢者のいる世帯の約 6 割が持家（H25：124,400 世帯、単身世帯では約 45%、夫婦世帯では約 75%が持家）【資料集 P9】
- バリアフリー化率は 44.9%（「手すりがある」は 5 割以上を占めているが、手すり以外の設備のバリアフリー化率は低い）【資料集 P11、P12】

高齢者の住まいに対するニーズ

- 高齢単身世帯の 10.5%、夫婦（家計主が 65 歳以上）の 11.3%が「住み替えたい」【資料集 P20】
- 今後の介護の意向について、介護が必要になったときでも、全体の約 5 割の人が在宅で生活したいと回答。一方で、高齢単身者の約 4 割は施設入所の意向を持つ【資料集 P24】

【借家に住む高齢者】

- 住まいで困っていることは、民間の賃貸マンション、アパートで「家賃が高い」が最も多く（32.2%）、市営・県営住宅で「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が最も多い（37.4%）【資料集 P19】

【持家の状況】

- 住まいで困っていることは、「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が最も多く（25.0%）、次いで「老朽化している」が多い（24.4%）【資料集 P18】

高齢者の見守り等に関する状況

- 在宅での生活を希望する高齢者（全体の 48.5%）の多くが、介護保険サービスを受けながら生活したいと考えている（全体の 43.0%）【資料集 P24】
- 近所づきあいがほとんどない高齢者は全体の 10.1%、単身世帯では 15.8%【資料集 P26】
- 孤立死の可能性があると考える高齢者は全体の 23.3%、単身世帯では 58.2%【資料集 P27】

高齢者の居住に関する課題

■高齢者の住まいに関する課題

- 高齢者世帯や要介護認定者が増加していること、高齢単身世帯の施設等への入所意向の割合が高い。

→**高齢者の個々の状況に応じた多様な住まい（住宅・施設）の供給が求められる。**

- 持家、借家ともにバリアフリー化が進んでいない。介護を受けながら在宅での生活を希望する高齢者が多いものの、住宅のバリアフリー化の不足が問題となっている。

→**住宅のバリアフリー化が求められる。**

→**身体状況の変化に対応するため、高齢者が自らのニーズに合った住まいへ円滑に入居するための支援が必要**

【借家の課題】

- 高齢者世帯は入居制限を受けやすい
- 高齢者の民間賃貸住宅等への円滑入居に向けた入居支援の充実や関係団体との連携が必要**

■生活環境の課題

- 介護が必要になっても住み慣れた地域での在宅生活を希望する高齢者が多い

→**在宅生活を支えるため、地域での相談機能の充実や福祉サービス等の充実が必要**

- 単身世帯の増加が見込まれているが、単身世帯ほど近所づきあいが少ない

→**地域団体や住民同士の支え合いの仕組みの強化が必要**

今後の方向性

①いつまでも安心して生活できる住まいづくり

◎**高齢者の在宅での生活を支える住まいを供給する。**

- サービス付き高齢者向け住宅等、バリアフリー化やサービスと連携した賃貸住宅の供給
- バリアフリー化の促進

②高齢者のニーズに応じた住まいへ入居できる環境づくり

◎**高齢者の身体状況などに応じた住まいへ円滑に入居できる環境をつくる。**

- 居住支援協議会による入居支援
- 公的賃貸住宅における取組み

③安心して暮らせるための生活基盤づくり

◎**助け合いの仕組みづくり、移動支援や買い物支援など高齢者が地域で安心して暮らせる基盤をつくる。**

- 移動支援・買い物支援
- 支え合う地域づくり（ふれあいネットワーク等）
- 在宅生活支援施策の充実

④高齢者の支援体制づくり

◎**高齢者の暮らしにおいて生じる様々な困りごとについて安心して相談できる体制を充実させる。**

- 地域包括支援センターと各種相談機能の充実
- 認知症施策の推進
- 地域包括ケア会議の推進

理念に基づき検討

基本理念（現行計画）

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり